

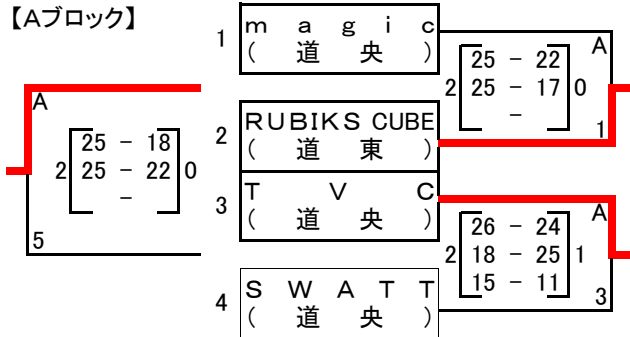
第32回北海道クラブバレーボール連盟会長杯争奪選手権大会

とき 平成26年5月10～11日
 ところ 三石スポーツセンター、静内体育館、山手体育館

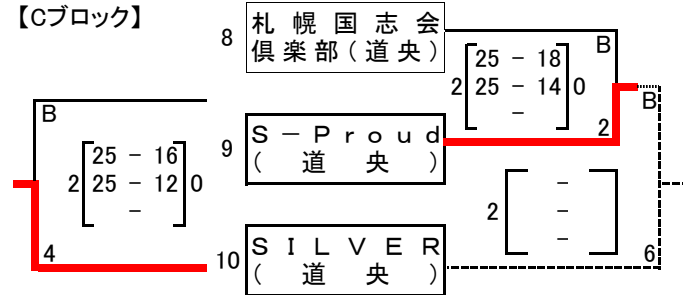
大会委員長 沓 沢 幸 一
 競技委員長 瀬 古 篤 志
 審判委員長 小 瀧 健 二
 総務委員長 津 田 良 二

【6人制男子予選ブロック戦 5月10日】

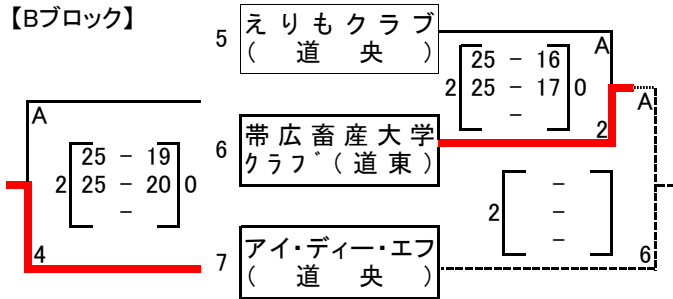
【Aブロック】



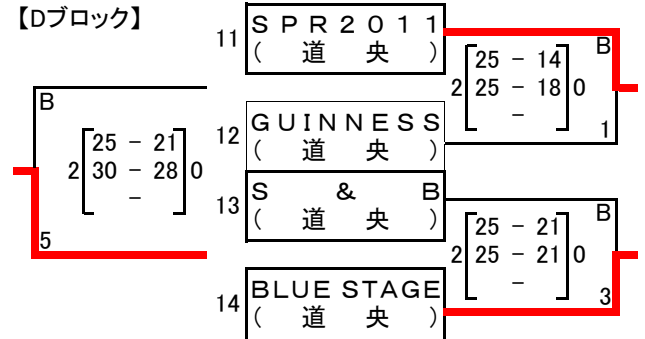
【Cブロック】



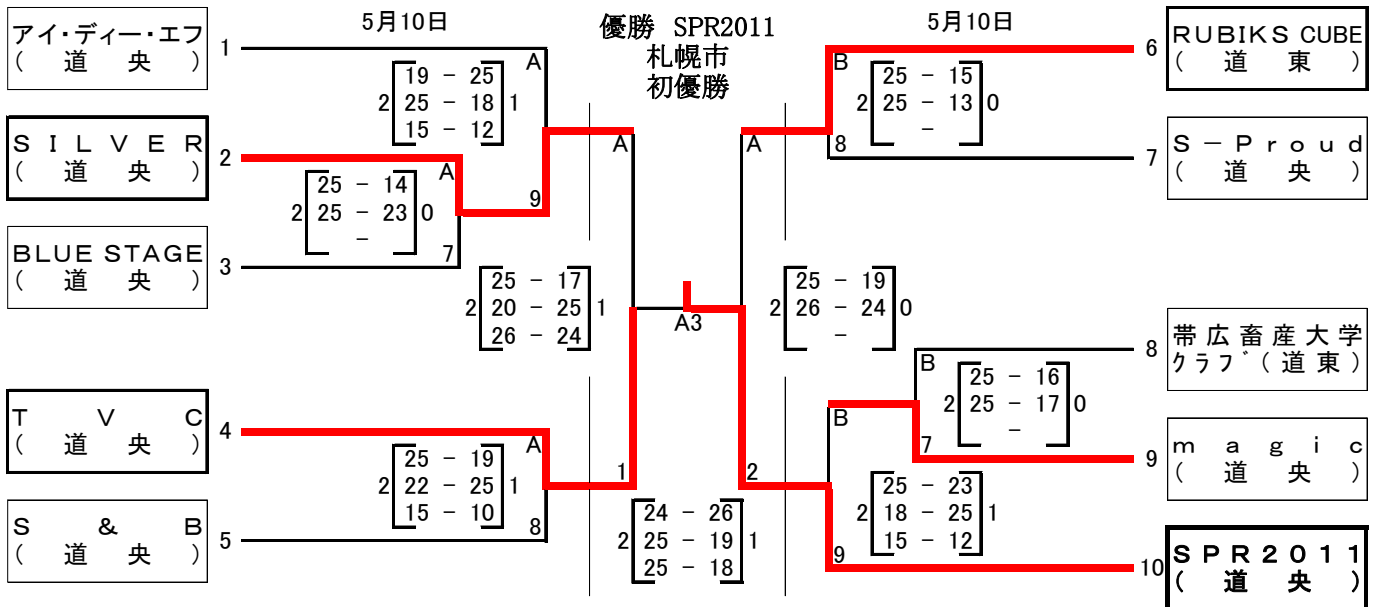
【Bブロック】



【Dブロック】



【6人制男子決勝トーナメント】



(6人制男子決勝戦戦評) 初優勝を狙うSPR2011と20年ぶりの栄冠を狙うTVCとの対決となった決勝戦。1セット目の序盤、SPR2011が優位に立つが、中盤以降13番小林の活躍でTVCが追いつき大接戦となる。最後にブロックポイントが出たTVCが抜けたこのセットを先取る。2セット目は多彩な攻撃と高さあるブロックで一気に抜け出したSPR2011がそのまま逃げ切りセットカウントを対に持ち込む。フルセットまでもつれた決勝の最終セット、序盤接戦となるが次第に攻撃力の勝るSPR2011が徐々にリードを広げる。その後お互い譲らず一進一退となるが、このまま逃げ切ったSPR2011がこのセットも取って初優勝を飾る。

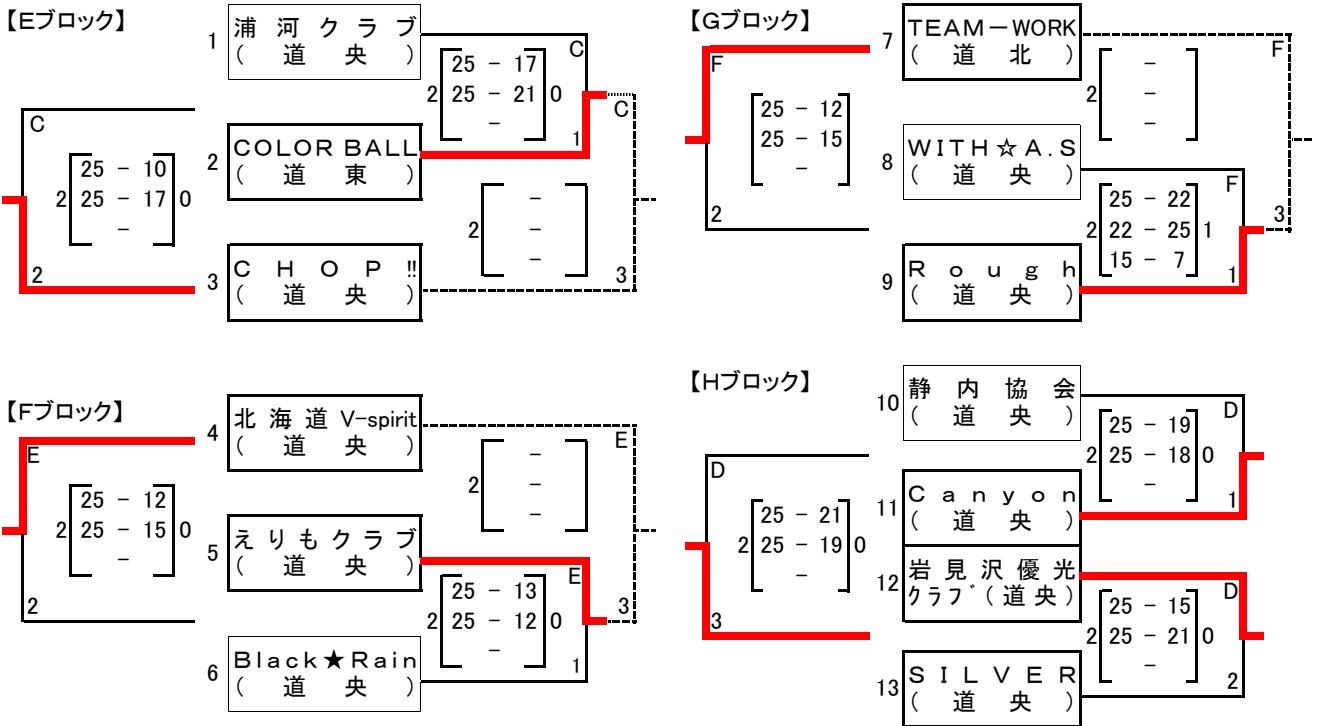
優勝: SPR2011(札幌市)、準優勝: TVC(札幌市)、3位: SILVER(札幌市)、RUBIKS CUBE(帯広市)

第32回北海道クラブバレーボール連盟会長杯争奪選手権大会

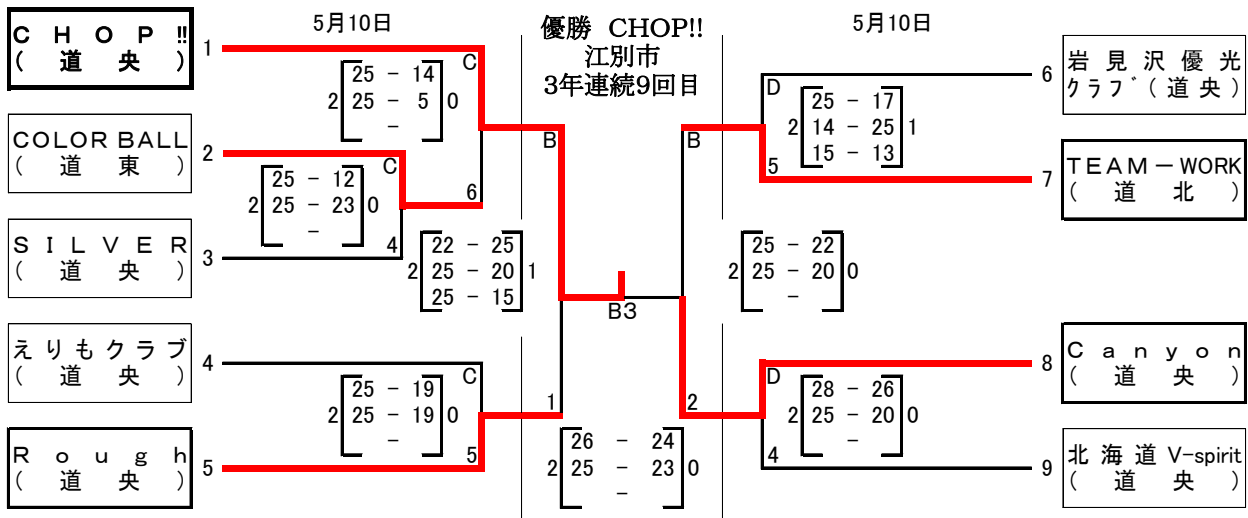
とき 平成26年5月10~11日
 ところ 三石スポーツセンター、静内体育館、山手体育館

大会委員長 沓 沢 幸 一
 競技委員長 瀬 古 篤 志
 審判委員長 小 瀧 健 二
 総務委員長 津 田 良 二

【6人制女子予選ブロック戦 5月10日】



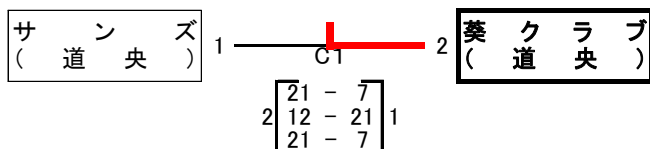
【6人制女子決勝トーナメント】



(6人制女子決勝戦戦評)1セット目は接戦で、後半CHOP!!が一歩リードをして終盤にCanyonは4番伊藤のアタック、1番会田のサーブポイントで同点に追いつくも、CHOP!!は1番山田、6番本間のブロックさらに3番青山のアタックでセットを先取した。2セット目、Canyonは10番十文字、1番会田のツーセッターに変更して攻撃を増やす作戦が成功し18-14とリードしたが、CHOP!!は1番山田の速攻をきっかけに9番三浦のアタック、8番渡辺のブロックで同点に追いつき、最後は9番三浦のアタックが決まり3年連続9回目の優勝を飾った。決勝戦にふさわしく見応えのあるゲームであった。

優勝:CHOP!!(江別市)、準優勝:Canyon(札幌市)、3位:Rough(札幌市)、TEAM-WORK(深川市)

【9人制男子 5月11日 決勝戦】



優勝 葵クラブ
 札幌市
 7年ぶり6回目

(9人制男子決勝戦戦評)1セット目、葵クラブは両エースの活躍によりスタートから波に乗り大差を付けこのセットを先取る。2セット目、サンズは2番能見のサーブでリズムを作り逆に波に乗りこのセットを取り返しセットカウントを対にする。3セット目、中盤から葵クラブの攻撃が光り、コートチェンジ後は一気に得点を伸ばした葵クラブが勝利し、7年ぶり6回目の優勝を飾った。